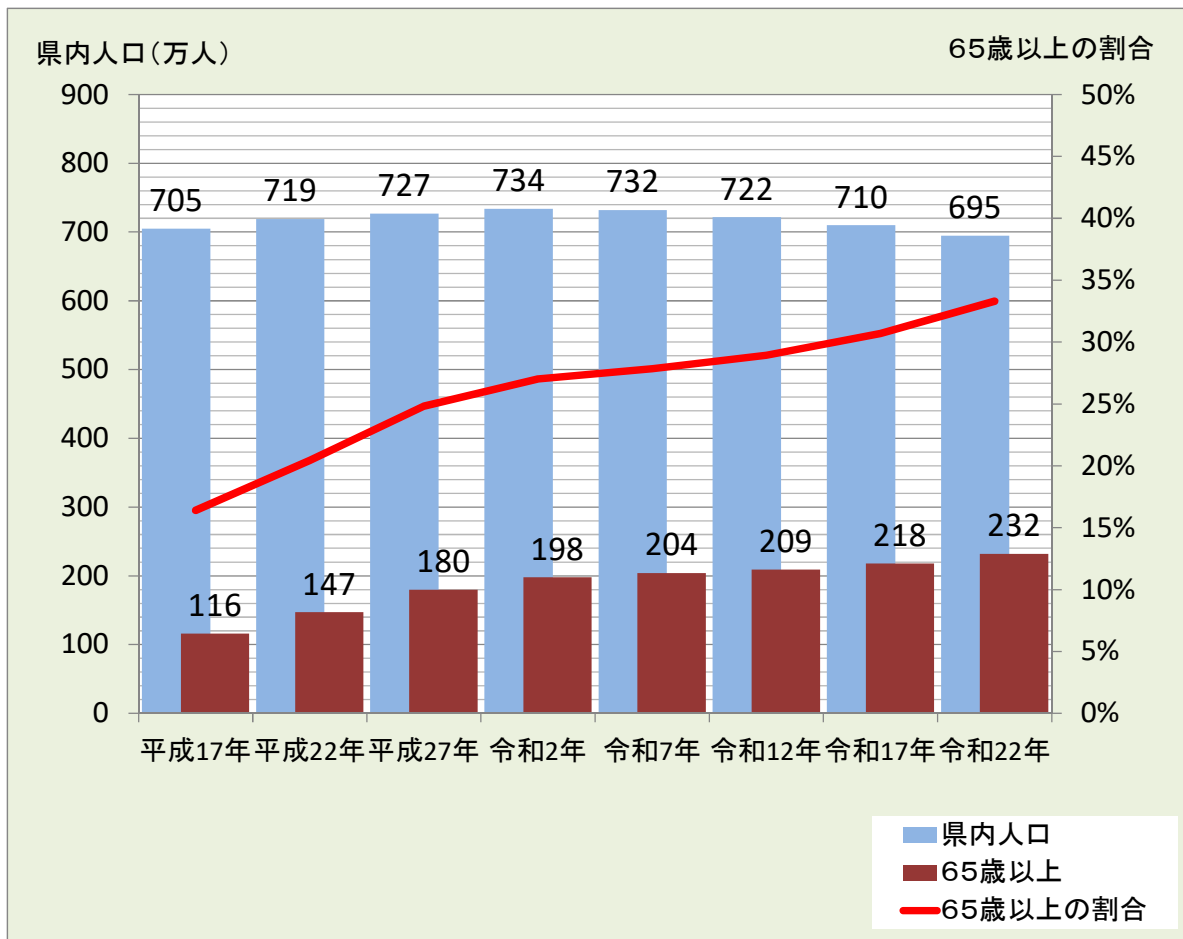


県内人口と高齢者人口の推移

年	県内人口 (A)	R2 との比較	65歳以上の 人口 (B)	65歳以上の 割合 (B)／(A)
2005年 平成17年	7,054,243	4.0%	1,157,006	16.4%
2010年 平成22年	7,194,556	2.0%	1,470,251	20.4%
2015年 平成27年	7,266,534	1.1%	1,804,346	24.8%
2020年 令和2年	7,344,765	-	1,983,776	27.0%
2025年 令和7年	7,316,411	-0.4%	2,037,075	27.8%
2030年 令和12年	7,224,481	-1.6%	2,089,717	28.9%
2035年 令和17年	7,100,944	-3.3%	2,178,493	30.7%
2040年 令和22年	6,952,930	-5.3%	2,315,628	33.3%

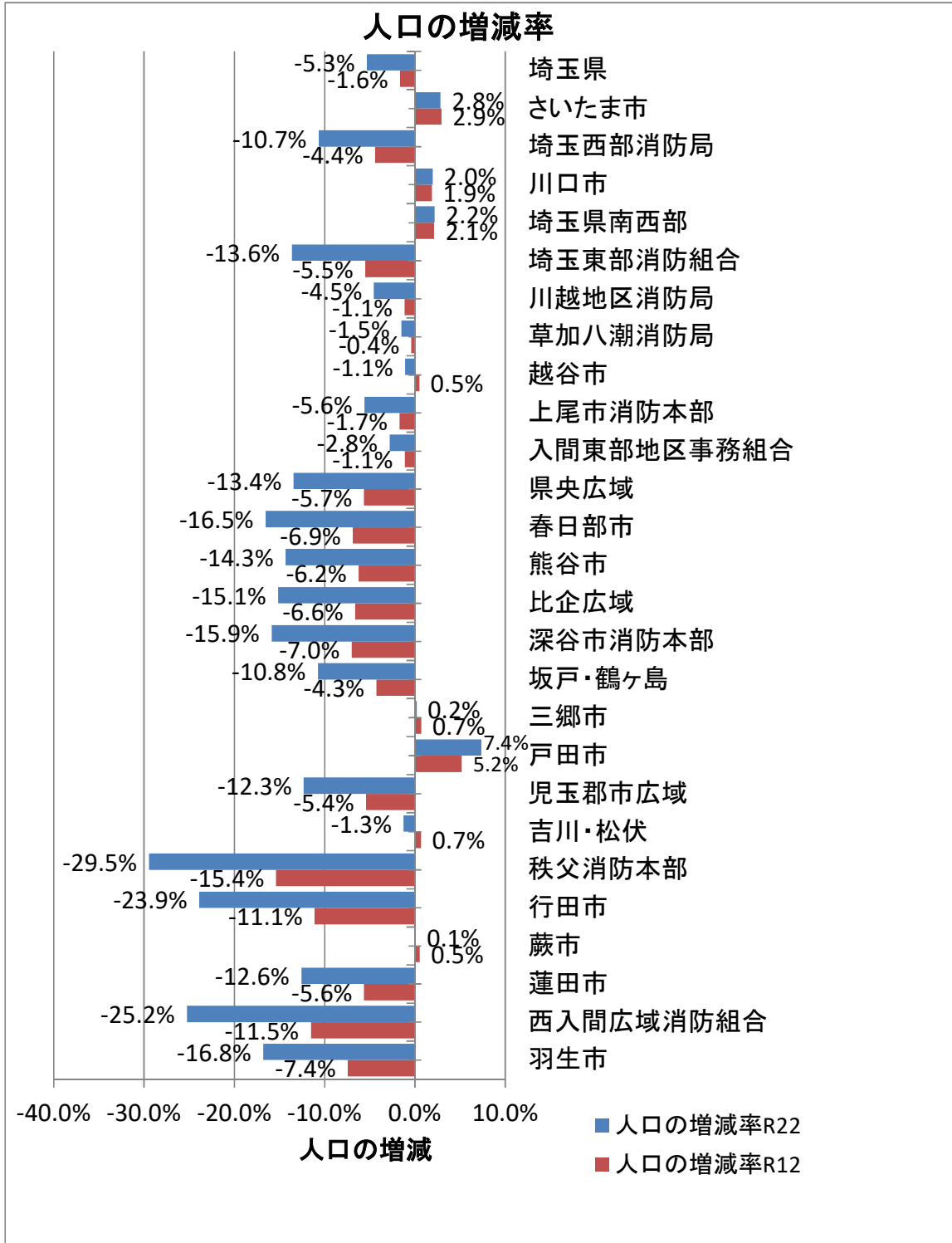
※データの出典は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口・令和5年版」



- ・ 県内人口は令和2年の734万人をピークに、急激に下がることが見込まれ、令和22年には700万人を下回り、令和2年の5.3%減になる見込み。
- ・ 65歳以上の人口は増加が続き、県内の高齢者の割合は令和17年には、30%を超える見込み。

管内別人口の増減

令和2年の人口を1として、10年後(令和12年)、20年後(令和22年)の管内別人口の増減率を試算した。国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口・令和5年版」を基に算出した。



- ・ 埼玉県全体では、令和12年には人口が約1.6%減少すると見込まれる。
- ・ 約70%の消防本部において、令和12年時点で人口減少が見込まれる。
- ・ 令和12年に管轄人口の減少率が10%を超える消防本部が3つある。
- ・ 令和22年に管轄人口の減少率が15%を超える消防本部が7つある。

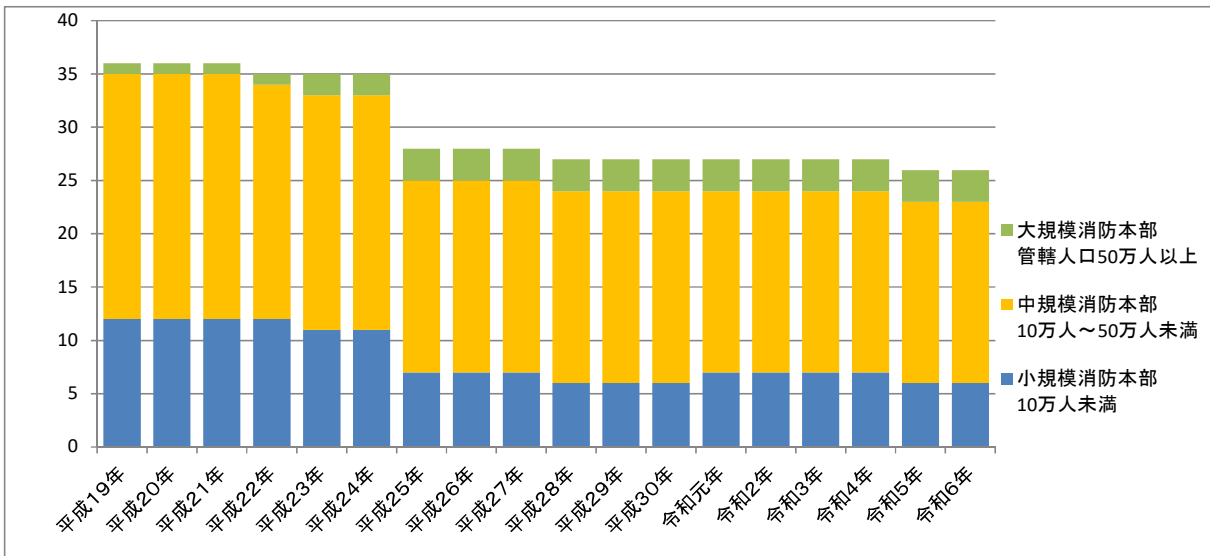
県内消防本部の管内人口・面積・消防吏員数

	消防本部	面積	管内人口		署・出張所数		消防吏員数		消防吏員平均年齢		管内人口 ／ 消防吏員数	
			R 2	H 1 7	R 2	H 1 7	R 2	H 1 7	R 2	H 1 7	R 2	H 1 7
1	さいたま市	217.4	1,324,025	1,176,314	26	25	1,391	1,240	40.2	39.0	952	949
2	熊谷市	159.8	194,415	204,675	6	7	243	242	40.0	40.2	800	846
3	川口市	61.95	594,274	538,434	13	13	568	541	37.0	43.4	1,046	995
4	行田市	67.5	78,617	88,815	4	4	105	93	38.8	40.8	749	955
5	春日部市	66.0	229,792	238,506	8	8	282	278	38.5	43.0	815	858
6	羽生市	58.6	52,862	56,693	2	2	79	74	37.2	40.1	669	766
7	深谷市	202.6	173,642	183,522	8	8	225	221	38.0	39.9	772	830
8	上尾市*	45.5	271,781	220,232	7	6	340	258	40.2	39.5	799	854
9	越谷市	60.2	341,621	315,792	6	6	360	292	38.5	41.1	949	1,081
10	蕨市	5.1	74,283	70,010	2	2	86	85	35.4	41.4	864	824
11	戸田市	18.2	140,899	116,696	3	3	138	134	36.2	40.7	1,021	871
12	三郷市	30.2	142,145	128,278	3	3	175	148	36.8	41.4	812	867
13	蓮田市	27.3	61,499	63,474	2	2	92	81	35.7	42.0	668	784
14	埼玉県南西部	61.2	466,435	421,834	8	8	434	420	36.6	39.5	1,075	1,004
15	秩父	892.6	94,690	114,596	5	8	181	164	37.2	39.8	523	699
16	入間東部地区	49.7	263,890	243,758	5	6	286	270	36.6	39.7	923	903
17	吉川松伏	47.9	100,245	91,141	3	3	152	146	36.4	39.6	660	624
18	児玉郡市広域	199.7	133,310	139,837	7	7	213	194	36.6	44.2	626	721
19	坂戸・鶴ヶ島	58.7	170,392	168,747	4	4	212	190	36.4	40.9	804	888
20	比企広域	316.9	189,377	200,899	9	9	273	257	36.0	41.1	694	782
21	川越地区	150.8	373,949	356,701	8	8	438	427	39.9	37.7	854	835
22	埼玉県中央広域	112.6	256,777	263,397	9	9	338	317	38.2	40.1	760	831
23	西入間広域	100.2	59,955	68,463	3	3	113	104	38.0	42.2	531	658
24	埼玉西部	406.3	771,746	781,229	19	19	873	854	40.3	40.5	884	915
25	埼玉東部	320.5	442,477	453,842	18	18	640	613	39.0	42.2	691	740
26	草加八潮	45.5	341,667	311,823	6	6	339	308	37.1	40.9	1,008	1,012
	計	3783.0	7,344,765	7,017,708	194	197	8,576	7,951	38.5	40.6	856	883
	R 2とH17の比較		+4.6%		△3		+7.9%		△2.1		△3.0%	

管内人口は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口・令和5年度版」を基に算出した。他のデータの出典は、「令和元年埼玉県消防年報」。

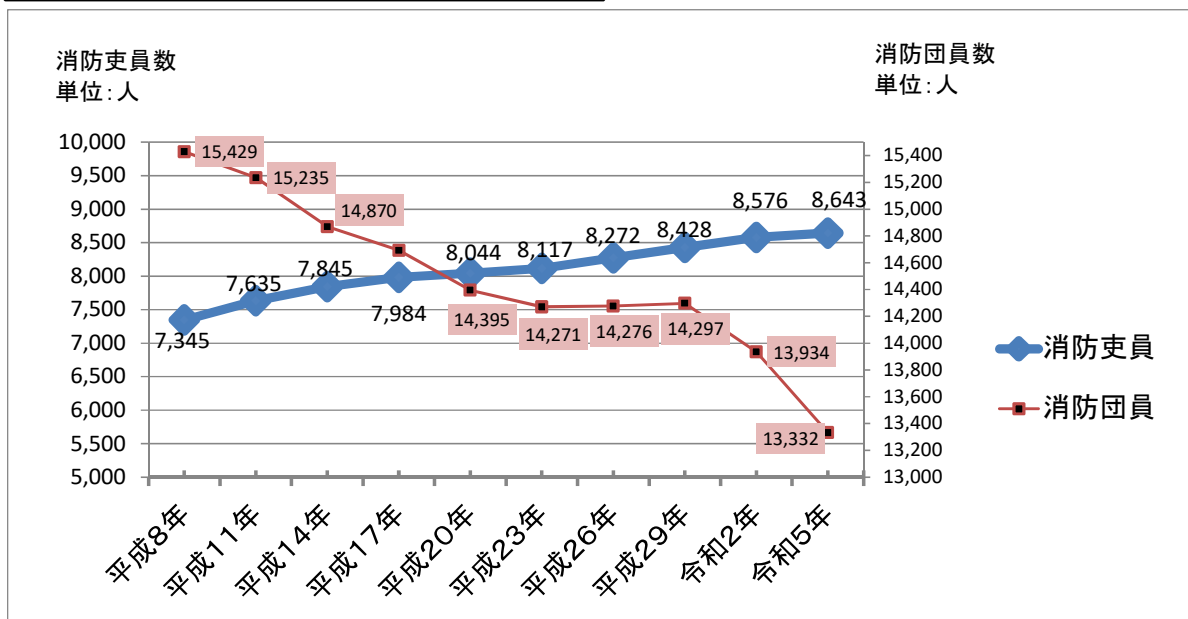
*令和2年時点だが、上尾市は伊奈町を含む。

県内消防本部数の推移



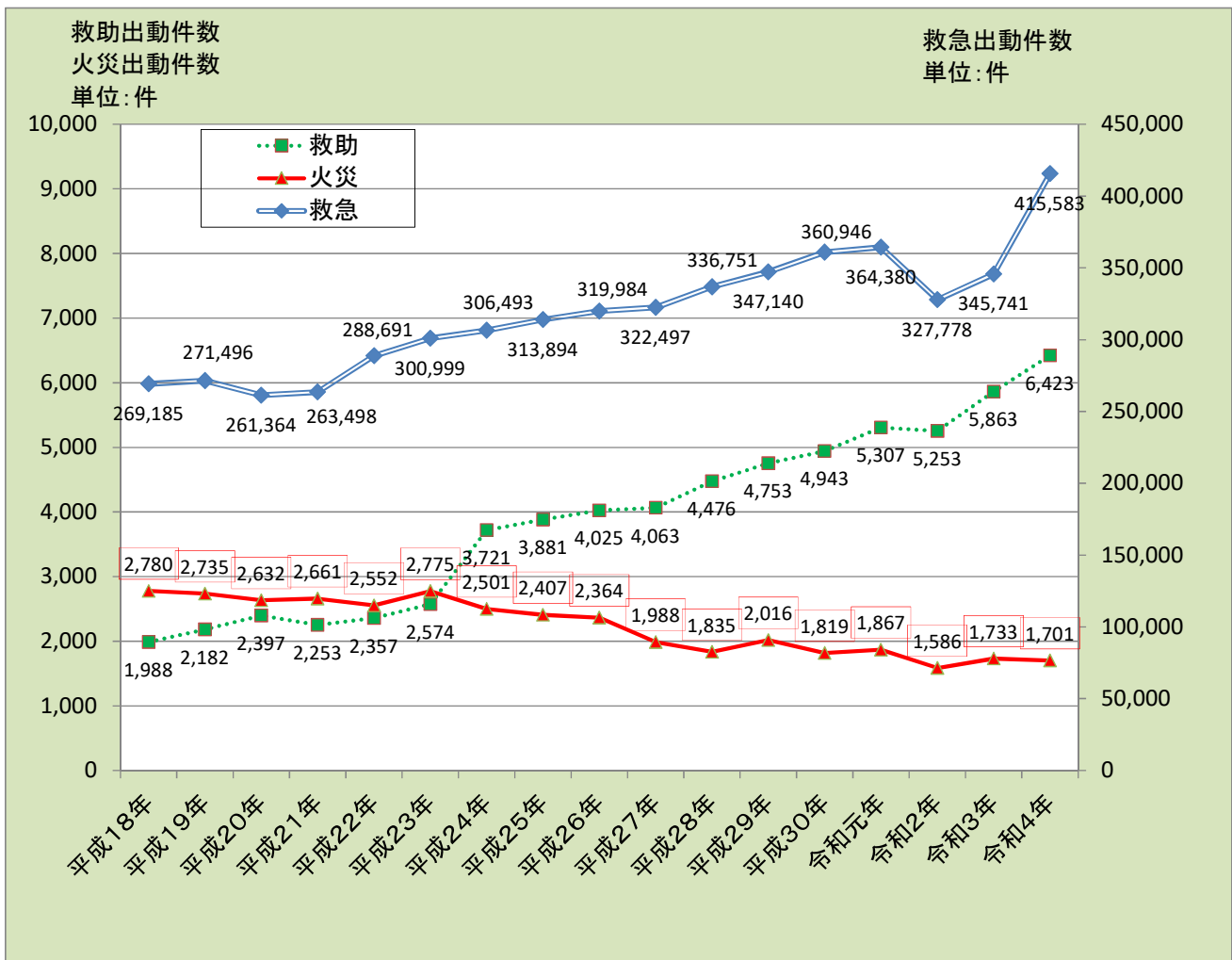
- ・ 県内の消防本部は、消防広域化推進計画策定時には、36消防本部だったが、令和6年4月1日現在26本部である。
- ・ 管内人口が10万人未満の小規模消防本部は12本部あったが、消防広域化により6本部となった。
- ・ 県内の管内人口50万人超の消防本部は、さいたま市消防局、埼玉西部消防局、川口市消防局の3本部である。

消防吏員数・消防団員数の推移



- ・ 県内の消防吏員数は、増加傾向である。
- ・ 一方で、消防団員数は、長期的に減少傾向が続いている。

出動件数の推移



- ・ 火災出動は、長期的に減少傾向である。
- ・ 救急出動、救助出動は、増加している。
- ・ 高齢になるほど、救急搬送者が増える傾向にある。高齢化の進行により、さらなる救急出動の増加が見込まれる。